



グリーンカーテン

毎年恒例の公民館のグリーンカーテン。今年もまちづくり協議会さんがゴーヤの苗を植えてくれました。昨年はあまり実がつかなかったので、今年はたくさんゴーヤがなるといいなあと教室の生徒さんと話していました♪



安心院支部老連

5月26日(水)、支部老人クラブ連合会の拡大役員会が安心院複合所で行われました。昨年度同様今年も新型コロナウイルス感染予防のため役員会をもって総会とし、昨年度の活動報告、会計報告と今年度の活動計画、予算案について協議しました。また今年度は役員の改選があり、安心院支部老連の支部長に津房地区老人クラブ会長の田口憲司さんが就任されました。これから2年間よろしくお願い致します。そして旧役員の恵良さん、2年間大変お疲れ様でした。



向日葵

津房郵便局さんより頂いたひまわりの苗を花壇に植えました♪



頂いたグミ

実が大きい!!



訪れる方はみんなビックリ! 皆さん子供のころ木の実を食べながら下校していたと思い出話を懐かしそうに話されていました。

いつもありがとう!

今年も小学校の4,5年生が“花いっぱい活動”の取り組みでプランターを持ってきてくれました。津房っ子の笑顔のように公民館の玄関もぱっと明るくなりました♪
津房っ子のみんな、いつもありがとう!!



お礼

溝部メグミ様(六郎丸)ご逝去に伴う香典返しとして、喪主 溝部留巳様より地区公民館に志を頂きました。謹んで哀悼の意を表し、厚く御礼申し上げます。
津房地区公民館長 小野芳己

感謝!



築 32 年の津房地区公民館。建物は古くなってきているけど館内はいつもきれい!それは定期的に清掃に来てくださる婦人ボランティアの皆さんと毎週教室の始まる前に玄関の植木と花壇を手入れして下さる油絵教室の生徒さんのおかげです。この場を借りてお礼を申し上げます、ありがとうございます。



公民館の玄関。教室前に油絵教室の方々が手入れをしてくれます。花壇にはサルタンを植えていただきました。お盆頃きれいに咲くそうです🌸

12日に婦人ボランティアの皆さんが館内と駐車場の清掃に来てくださいました。アスファルトの隙間に自生した秋桜だけきれいに残して草取りしてくれました。



津房句会

大隈草生 選

四月例会

五月一日(土)

兼題 (潮干狩・蝶・若草)

雨上がり若草の色あざやかに・一圭

(評)若草は芽を出して間もない草、新しく萌え出た春の草のこと。芽起しの雨に誘われていち早く草が芽を出す。雨に濡れた鮮やかな若草の色に四圍が明るく活気に溢れてくる。農家は種蒔き、植え付けなど農繁期を迎える。

潮引いて一音に飛び出す潮干狩・寂蓮

沖の波まだまだ来るな潮干狩・聖枝

翅^{はね}たたみ束の間憩う揚羽蝶・洋子

若草に三三五五と豊後牛・茂

カラフルな見^こえらのゴム長潮干狩・草生



頂いた紫陽花

英名でハイドランジア、ラテン語で水の器という意味



英会話 Good Job!

英語が得意な代表者の方と英語が苦手な編集者との子供とか大人が英語を気軽に勉強できる環境があったらいいねって話から生まれた新しいスクール、その名も『Good Job!』が開講します!本場アメリカの先生とおしゃべりしながら単語や咄嗟の一言を学び、楽しみながら生きた英語を習得することを目標としています。現在子供向けと大人向けの講座を企画していますが、英語に興味がある方はどちらに来られても大歓迎です!と代表者の方。週末は公民館で英語を話しませんか?下記の予定で7月よりスタート!皆様のご参加をお待ちしております♪

こども講座 第2・4土曜日	7月10日(土) 13:00~16:00
おとな講座 第3金曜日	7月16日(金) 13:00~16:00



受講料は無料、
筆記用具と英語を楽しみたい
気持ちは忘れずに!

詳しくは津房地区公民館まで
(公民館の開館日は火・水・金です)

今月の相原さんの作品



紫陽花と和傘

右手の傘を見てみると見覚えのある感じが!おせんべいの「も〇吉」の包み紙で作られた物で、ハツとした瞬間、相原さんの遊び心について吹き出してしまいます。

小野さんの

津房の歴史

II. 渋沢栄一に愛された尾立維孝

これたか



尾立維孝(1860~1927)は安政元年尾立の庄屋に生まれた。広島師範・二松学舎で学び台湾検察官長になり、多くの津房村民を渡台させた。官長時代に台湾抗日運動のゲリラを多く捕殺したが、これを憐れみ地元尾立に仏巖寺を再興し死者を弔う。

東京・二松学舎の教授として、渋沢栄一(2024年から一万円札の顔となる)の論語講義録等をまとめて親交を深め愛された。日清・日露戦争の勝利と渋沢・維孝らの努力で日本は欧米に並ぶ強国となり、日本国の功労者に贈られるきんけいのましこう錦鶏間祇候を受ける。

主婦の友を創刊した石川武美を東京の自宅に下宿させるなど郷土を忘れなかった維孝。現在尾立には維孝をはじめ、一族の墓がある。

著書 津房荘社寺考・津房遺文・宇佐郡地頭伝記 他